

令和7年度 こども園評価について

朝来市立糸井こども園

A: 達成している(80%以上) B: 概ね達成している(70%以上) C: あまり達成していない(50%以上) D: 達成していない(50%未満)

評価項目		評価	今後の改善について	自己評価の妥当性 (こども園関係者評価の意見等)
園 運 営	1 保護者や外部に教育方針や活動内容を分りやすく伝えている	A	A	<p>園だより、クラスだより、食育だよりなどで、園の活動内容は非常によく伝えられていると思う。</p> <p>コードモンでの発信となると、行事などを見落とさないように保護者も気を付けないといけないと思う。</p> <p>もう少し園に来ていただく機会をつくるのはどうか。来られるか来られないかは別として、機会があつたらいいと思う。</p> <p>朝来市のこども園は、とても丁寧な保育をしておられる。預かってあげているというスタンスの園もある。</p> <p>朝来市は住みやすい町を目指しているので、ますます園の必要性も高まるのではないかと思う。</p>
	2 保護者参観・行事・面談・園だより等開かれた園づくりをしている	A		
	3 PTAや地域との連携を図り、特色ある教育活動に取り組んでいる	A		
	4 園児の健康の把握や健康管理等適切な指導や対応ができています	A		
	5 防災・不審者の危機管理等、安全指導に努めている	B		
	6 園内の環境美化に努め、施設・設備等の安全管理を適切に行っている	A		
	7 園運営に教職員の意見が反映されている	A		
	8 教職員の資質能力を高めるための研修を十分に行っている	A		
教 育 課 程	1 教育目標が自園の実態を把握し、園児や保護者のニーズにあった内容である	A	A	<p>指導計画は、今後も職員間で連携しながら作成し、保育活動に取り組む。発達年齢に応じた遊びを取り入れる。クラスの人数が少なく、今後も異年齢児保育の機会を大事にしていく。</p> <p>小学校も温かく迎えてくれるので関わりを増やしていきたい。5歳児だけでなく3.4歳児も交流でき良かったので、今後も無理のない内容で計画していく。</p> <p>地域の方との積極的な関わりは十分ではないので、今後も、地域の方や身近な人との関わりを意識的に取り入れ、子ども達が人とのつながりを感じられるような経験を積み重ねていきたい。</p>
	2 園児の発達に即し、遊びを中心とした体験的な教育に取り組んでいる	A		
	3 生きる力の基礎を身につける指導・工夫をしている	A		
	4 心の教育・道徳性の芽生えを養う指導や工夫をしている	A		
	5 地域を活かした特色ある教育活動を行っている	B		
	6 こども園・小学校・地域等との交流や連携を行い、保育・教育活動に活かしている	A		
	7 指導計画・行事の作成にあたっては教職員で話し合っている	A		
保 育 活 動	1 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に関心をもてるよう工夫している	A	A	<p>今後も、楽しい雰囲気の中で子ども達が主体的に関わるような環境構成を行う。職員間で連携をとりながら環境を整える。発達に応じた遊びの環境や援助など研修で学びながら取り組んでいく。</p> <p>一人一人が安心し、落ち着いた気持ちで過ごせるように関わっていく。</p> <p>基本的な生活習慣の確立を目指す。身につけてきた習慣や態度を継続できるようにする。</p> <p>日常的に絵本の読み聞かせを行っている。子ども達が自ら絵本に手を伸ばしたくなるような環境づくりの工夫をする。</p>
	2 園児一人一人の発達を明確にし、共に育ち合える保育になっている	A		
	3 生命を大切にする心や、規範意識が芽生えるよう指導している	A		
	4 自分の思いを言葉等で伝え、相手の思いに気づく力や、伝え合う喜びを培っている	A		
	5 健康・安全に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいる	A		

※「絵本の読み聞かせをし、本に親しむ指導をしている」等、各園で独自に取り組んでいるものは各園で項目を設定し、評価する